

形式：オンラインセミナー（Live 配信）	補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）
ジャンル：知財	講習会コード：t d s 2 0 2 5 0 9 0 2 z 1

工場の自動化や AI の導入など、日本国内では徐々に製品製造の製法が変わりつつあります。製法についても知財戦略は必要となり、特許出願や、取得した特許をどう活用するかは重要となります。本講座では製法特許に焦点をあて、効果的な特許活用の考え方を紹介します。

製法特許に関する的確な特許実務と特許戦略

講師：青山特許事務所 顧問弁理士 加藤浩氏

1990 年から 2009 年まで特許庁審査官・審判官を務め、2009 年より現職に。
主に知的財産法、特許法、特許審査、特許実務の職務に従事している。
知的財産大学院協議会・会長、大学技術移転協議会・理事、日本知財学会、工業所有権法学会に所属。

- 日程 2025 年 9 月 2 日（火） 13：00 ～17：00 ※見逃し配信のみのご受講も可能です。
- 受講料 **36,300 円**（税込／テキスト付） ※6/13（金）までにお申込の場合、**29,040 円（2 割引）**となります

I. 製法特許の重要性

- 1. 製法特許の重要性の高まり
- 2. 製法特許と生産性の関係（人工知能の進化）
- 3. 製法特許と製造受託企業（EMS）の動向
- 4. 特許出願とノウハウの判断基準

II. 製法発明の特許出願

- 1. 製法発明の認定
- 2. 製法発明の特許クレームの書き方
- 3. 製法発明の明細書の書き方
- 4. 製法発明の特許クレームの作成演習（ケーススタディ）

III. 製法発明の特許調査

- 1. 製法発明の特許調査の課題
- 2. 製法発明の検索式の作り方
- 3. 人工知能による品質管理の取り扱い
- 4. 製法発明の特許調査の実演（ケーススタディ）

IV. 製法特許の特許審査

- 1. 新規性、進歩性、記載要件の判断基準
- 2. プロダクト・バイ・プロセスの活用方法
- 3. 拒絶理由への対応方法
- 4. 最近の裁判例（審決取消訴訟）からの教訓

V. 製法特許の権利範囲

- 1. 製法特許のクレーム解釈（リーチスルー・クレームの注意点）
- 2. 生産方法の推定規定（特許法 104 条）の留意点
- 3. 権利侵害の立証方法（査証制度の利用方法）
- 4. 最近の裁判例（特許侵害訴訟）からの教訓

VI. 製法特許の活用方法

- 1. 製法発明に関する最近の登録特許の分析
- 2. 諸外国の登録特許の事例との比較（米国、欧州、中国など）
- 3. 事例を踏まえた最適な明細書・クレームの提案
- 4. 製法特許の特許戦略の構築に向けて

<習得知識>

- 1. 製法特許の重要性について認識し、出願動向について把握する。
- 2. 製法発明の特許出願書類について理解し、適切に出願書類を作成する方法を習得する。
- 3. 製法特許の特許調査、特許審査について理解し、そのための実務について習得する。
- 4. 製法特許の権利範囲について理解し、裁判例や登録事例の最近の傾向について把握する。

<講義概要>

近年、各種製品の製造コストが増加する中、企業活動において、製造プロセスの改善や生産性の向上への関心が高まっています。また、人工知能の進化と普及が推進される中、製法発明に関する技術も進展し、関連する特許出願も増加する傾向にあります。製造方法に特化したビジネスを展開する製造受託企業（EMS）も普及する傾向にあります。

このような製法発明について実用化を推進するためには、特許戦略の構築が必要不可欠です。すなわち、特許出願の動向を把握したうえで、どのような特許を取得し、どのように活用するかが重要な課題です。とくに、広くて強い特許を取得することが重要であり、その結果、製法発明を事業活動に最大限に活かすことができます。

本講演では、このような視点から、製法特許の最近の傾向と特徴について整理したうえで、製法特許の効果的な活用に向けた特許実務と特許戦略について説明します。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/9/2	製法特許に関する的確な特許実務と特許戦略	
会社名※			
所在地※ （請求書等の送付先）	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
	会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない （登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報を配信します）	
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
	会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない （登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報を配信します）	
支払方法※	☐ 銀行振込（紙請求書） ☐ 銀行振込（PDF 請求書） ☐ カード支払い ☐ 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	☐ [] 月 [] 日ごろを予定している ☐ 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】②【会社名】③【所在地】④【氏名】⑤【所属】⑥【Email】⑦【TEL】⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主 催 申込・問合せ先	名 称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住 所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電 話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		